

11月3日(木・祝)文化の日は観覧料無料です！

展覧会とイベントのご案内

陽光礼讃 谷川晃一・宮迫千鶴展

画家で美術評論家の谷川晃一と、画家でエッセイストの宮迫千鶴夫妻による明るい色彩に満ちた作品を紹介します。

●谷川晃一さんによるアーティスト・トーク

「雑めく心」11月13日(日)

「陽光礼讃」12月3日(土)

14時～15時30分／講堂

●学芸員によるギャラリー・トーク

11月20日(日)

12月18日(日)

14時～14時30分／展示室



宮迫千鶴 《花言葉・夕暮れの想い》2007年 アクリル、紙▲

同時開催 コレクション展2：光、この場所で 特集展示 坂倉新平

●学芸員によるギャラリー・トーク

11月6日(日)、12月10日(土)

14時～14時30分／展示室

葉山町コラボ企画 ギャラリー・トーク

11月19日(土) コレクション展2のトーク

12月11日(日) 館長の水沢勉によるトーク

14時～14時30分／展示室

彫刻プロジェクト in 葉山

●ワークショップ：葉山の自然をうつしとる

11月19日(土) 11時～16時のうち1時間程度

(当日随時参加可能、15時まで受付、先着100人)

講師：館鼻則孝

(現代美術家・ファッションデザイナー)

町長と葉山のはなし

葉山町長 山梨崇仁コラム

Vol.29 葉山モデルが日本を変える
—きれいな資源ステーション—

ごみの戸別収集・資源ステーション方式を開始して2年5か月。ごみ量は約20%減量、資源化率は42%となっています。3万人規模の町が(無料で)この数値を出すことは驚異的です。そして、いつも汗をかいて協力して下さっている町内会やボランティアの皆さんとの取組みも着実に評価され、葉山町は町民との協働、社会実験による政策形成などで行政の業界では「先進自治体」とされています。学会やシンポジウムでも葉山の取組みを幾度となく紹介してきましたが、11月1日には、全国から選抜された8つの自治体



▲資源ステーションの不法投棄対策を検討した町内会プロジェクトは全国初の社会実験モデルとなりました

の一つとして、「行革甲子園」に担当職員が出席し、プレゼンテーションも行います(※)。町民の皆さんの努力が、葉山の新たな価値となって評価されるだけでも嬉しいことですが、それが先進モデルとして他都市に影響を与え、日本全体の環境政策に貢献する。実に本望です。葉山モデルが日本を変える、つまり私たちの行動が日本を変えるということ。日々のごみ分別・資源化、生ごみの自家処理に対する皆さんの真摯で丁寧な取組み、本当にありがとうございます。

(※)愛媛県で開催する行政改革の第3回全国大会。このコラム執筆時点では、審査結果が出ていません。